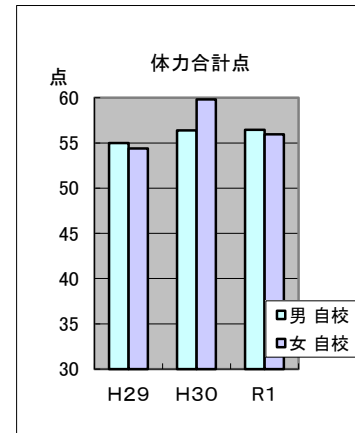
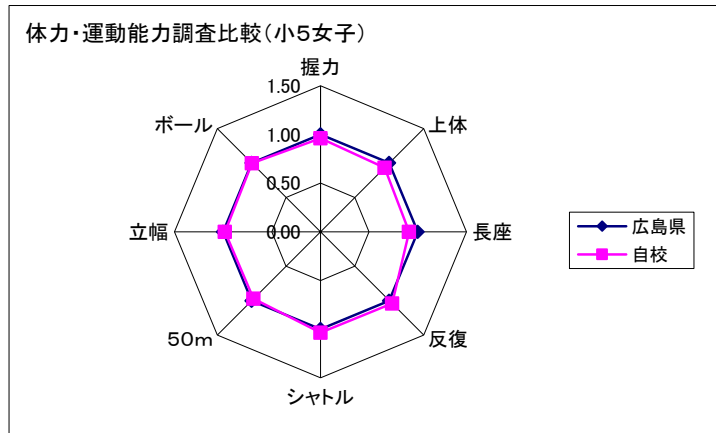
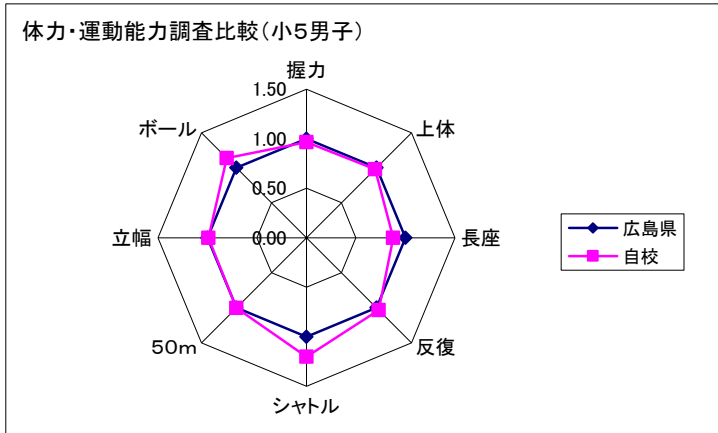


男子の体力合計点 学校 56.45点 県平均 56.09点

女子の体力合計点 学校 55.95点 県平均 57.92点



R1体力・運動能力調査の結果と分析

結果と分析 (全学年の状況も踏まえて記入すること)

① 50m走(呉市の課題種目)
 ・男子は1～5学年において県平均値を上回っていたが、女子は3・6学年しか県平均値を上回っていなかった。
 ・女子が下回っている学年が多いので、体育科の授業の中で、走り方のコツを指導したり、楽しく走る経験をさせる必要がある。

② ソフトボール投げ(中学校区の課題種目)
 ・男子は1～5学年において県平均値を上回っていた。女子は1・3・5・6学年が県平均値を上回っていた。
 ・特に低学年において、異学年で投げ方を指導し合った効果が出ている。異学年での学習を今後も進めるようにする。

③ 握力(自校の課題種目)
 ・男子は1・3・4学年において県平均値を上回っていたが、女子は4学年しか県平均値を上回っていなかった。
 ・男女ともに県平均値を上回っている学年が少ない。握力体操などの取組を引き続き行うとともに、体育科の授業の中で握力が鍛えられる運動を取り入れるようにする必要がある。

課題解決のための今後の取組及び数値目標

①呉市の課題種目 (50m走)	具体的な取組内容 ・体育科の授業の中で、「スタート時に前傾姿勢」など学年に合った走り方の指導を行う。 ・「くれ・チャレンジ・マッチスタジアム」のダッシュリレーといった走力が鍛えられる項目について全校で継続的に取り組む。 ・運動会の徒競走の練習と合わせることで、意欲をもたせる。
具体的な数値目標 (男子0.3秒, 女子0.4秒)	
②中学校区の課題種目 (ソフトボール投げ)	具体的な取組内容(中学校区で1つ以上共通の取組を設定) ・体育科の授業の中で、1・6学年、2・5学年、3・4学年が合同で行い、高学年が低学年に投げ方を教える機会を設ける。 ・「くれ・チャレンジ・マッチスタジアム」のシャトルスローリレーに全校で継続的に取り組む。 ・体育朝会で、投げ方を全校で確認する。
具体的な数値目標 (男子3m, 女子3m)	
③自校の課題種目 (握力)	具体的な取組内容 ・体育科の導入でサーキットトレーニングを行い、鉄棒や登り棒などを行うことで握力が鍛えられるようにする。 ・体育朝会で、全校で握力体操を行う。 ・検定カードを活用して、休憩時間などに児童が進んで握力が鍛えられるような運動をするように促す。
具体的な数値目標 (男子3kg, 女子2kg)	

※具体的な数値目標(記録の伸びを数値化)